

企業名： リケンテクノス

レポート名： 統合報告書 Blue Challenge Report 2024

1. この会社が目指す姿が理解できるか（将来）

独創的で卓越した、樹脂素材の配合加工技術で、企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けることをミッションとして掲げており、「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」を長期ビジョンとして掲げており、社会のさまざまな領域を含む「すべての生活空間」に対して快適さを提供し、サステナブルな社会への実現への貢献を目指していることがわかる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか（現在）

処方設計技術、配合・混練技術、フィルム製膜・加工技術などの「高い技術力」および ASEAN をはじめとしたグローバル展開、顧客基盤、顧客対応の技術などの「グローバル展開する優良顧客に対して、顧客の望むものを届ける力」とまとめられているように、しっかりとした競争優位性があることが理解できた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか（変化）

中期経営計画では事業の強みを伸ばし、将来に向けた成長のための戦略として「グローバル経営の深化とシナジー」、「顧客の期待の先を行く」、「新規事業・新製品への挑戦」、「環境・社会課題解決への貢献」が掲げられている。また、この戦略を支える施策として、製造設備投資、知財・研究開発投資、DX 投資、人的資本投資、ガバナンス体制強化が行われており、特に人的資本投資については、「人の成長こそ企業の成長」という考えに則り、力を入れていることがわかる。そのため、今後も持続性があると理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

人的資本の価値向上に力を入れており、社員一人ひとりの成長を促し、多様な人材が活躍できる企業風土を築くことを目指していることから、自身の人的資本の価値向上を達成できると感じる。特に、ビジョンや理念を理解し、分析力や多様な視点をチャレンジメーカーに相応しい人材というように、具体的な目標が定められており、価値向上を達成するための基盤が整えられていると思う。また、役員だけでなく、部長、課長、係長などにも中計策定のための議論に参加させるなど、年次を問わない意見尊重の文化があり、育成費用も増加傾向にある。さまざまな研修制度、プロフェッショナル制度、育児休業制度、健康経営の推進、ワークライフバランスの確保、全国平均を上回る賃上げなど、様々な施策が実際に行われて

いることも読み取ることができた。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

よかった点としては、価値創造プロセスについて、さまざまな項目に分けてとてもわかりやすく説明されている点である。経営理念やビジョンが明確化されており、事業活動の詳細や、製品についての説明がわかりやすく述べられていた。また、サステナブルな社会への実現を目指しているように、経済価値だけでなく、社会価値についての説明が充実している点も、ビジョンや経営理念との一貫性があり、とても良いと感じた。

改善余地としては、セグメント別の情報の利益についての説明があげられる。セグメントごとの売上高の推移やセグメント内のより詳細な分野ごとの売上高の推移については数値だけでなく、グラフで表示されており、どのセグメントも概ね売上高が増加傾向にあることが読み取れるが、利益については数値のみで示されており、売上高が伸びているにも関わらず、横ばいであるセグメントが多く、疑問を感じたが、特に説明がないように感じた。そのため、セグメントごとに売上高だけでなく、利益率もグラフで示すことで収益性について、よりわかりやすくなり、利益の推移についての説明が詳細になされていると、より納得感のあるものになると考えられた。